

地下空間の大規模改革及び 夢洲開発への参画について

2018年12月20日



Osaka Metroは、活力インフラへ

Osaka Metroは、最高の安全・安心を追求し、誠実さとチャレンジ精神をもって、
大阪から元気を創り続けること

大阪を活性化するために

- 活力ある都市は、次々と新しいものが生まれる都市
- 直接、人と人が会うことから、新しいものが生まれる
- 大阪の活力の源は**多様性**
- 多様な人と人が出会い、
また、人が様々な新しいモノに触れて感じる機会を増やしたい

Osaka Metroが目指すもの

Osaka Metroは、社会生活をしっかりと支える。
さらに、活力も生み出すために、出会いをさらに活性化するインフラを目指す。

Osaka Metro = 社会生活インフラ + 活力インフラ

「活力インフラ」とは多様な人とモノの出会い、すなわち、文化や国籍に関係なく人と人が出会い、人が新しいモノに触れて感じることで、その一人ひとりの出会いが大阪の元気を創り続けるためのインフラ

Osaka Metroが進める具体的な取り組み

社会生活インフラ
+
活力インフラ

夢洲

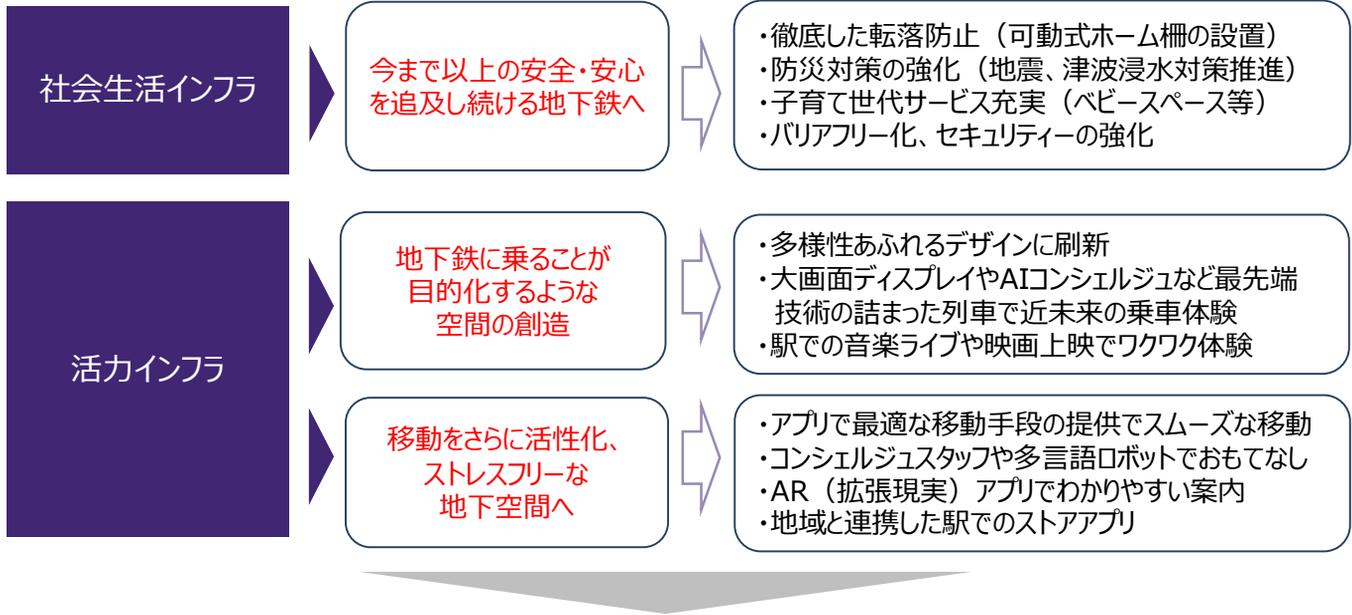


東西軸・南北軸の強化
地下空間の一体開発

活力拠点の創出
夢洲開発

新しい地下空間へ

コンセプトと具体的な機能



多様な人やモノの出会い、その一人ひとりの出会いが大阪の元気をつくり続ける

地下空間の開発費用について（2018年度～2024年度の合計額）

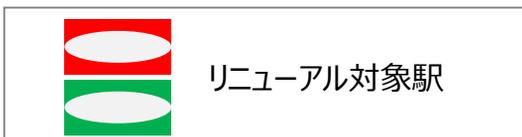
- 御堂筋線 9 駅、中央線 6 駅のリニューアルを2024年度までに完了

御堂筋線

	内容	費用	備考
	地下空間	300億円	15駅
	車両	295億円	中央線30列車
	合計	595億円	

※上記のうち、地下空間は100億円、車両は30億円を新たに追加。
また、車両には万博用車両を含むが大阪市等の負担を予定

中央線





新大阪駅 コンセプトは「近未来の大阪」



梅田駅 コンセプトは「インフォメーション・ターミナル」



心齋橋駅 コンセプトは「テキスタイル」



大阪港駅 コンセプトは「空中に浮いた旅する船」



新型車両 移動そのものを楽しめる車両へ刷新

夢洲 中央線延伸への参画

コンセプトと具体的な機能

社会生活インフラ
(多様な出会いを支える)

国内外の来訪者を
迎える玄関口

・多くの方がスムーズに万博や I R にアクセスできる
空間を提供

活力インフラ
(新しい大阪らしさに出会える
エキサイティングな場所)

新しい体験への期待を
高め、ワクワク感を演出

・コスモスクエア～夢洲へのトンネル及び夢洲駅を
エンターテイメントへの入口に

夢洲駅位置図

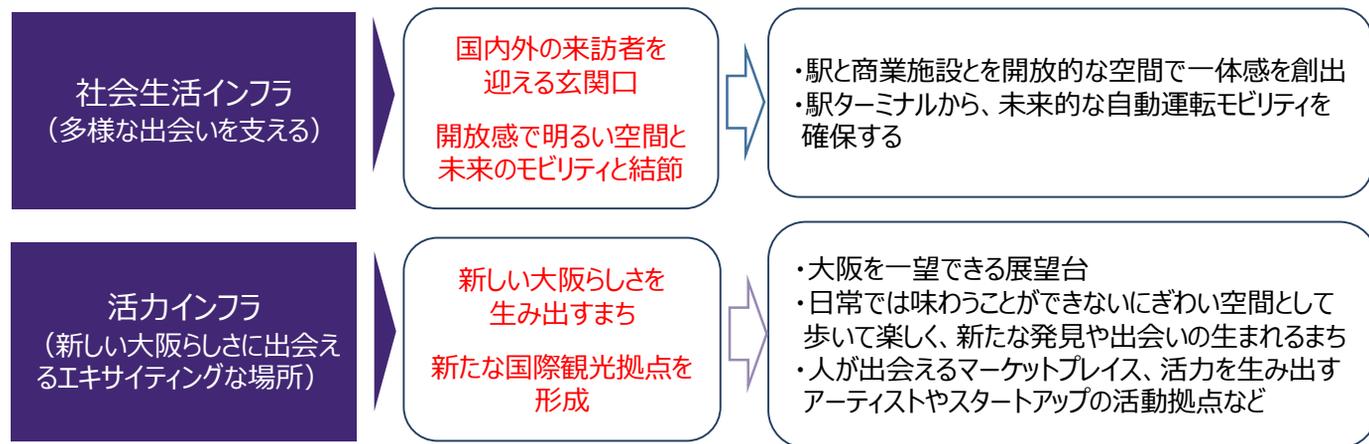


夢洲開発への参画について

「活力インフラ」の拠点としての開発を目指し前向きに取り組んでいく。
場所・規模等については土地確保や共同事業化などの開発に必要な条件が整い次第、具体的な検討を進めていく。

夢洲 新しい大阪の活力拠点

コンセプトと具体的な機能

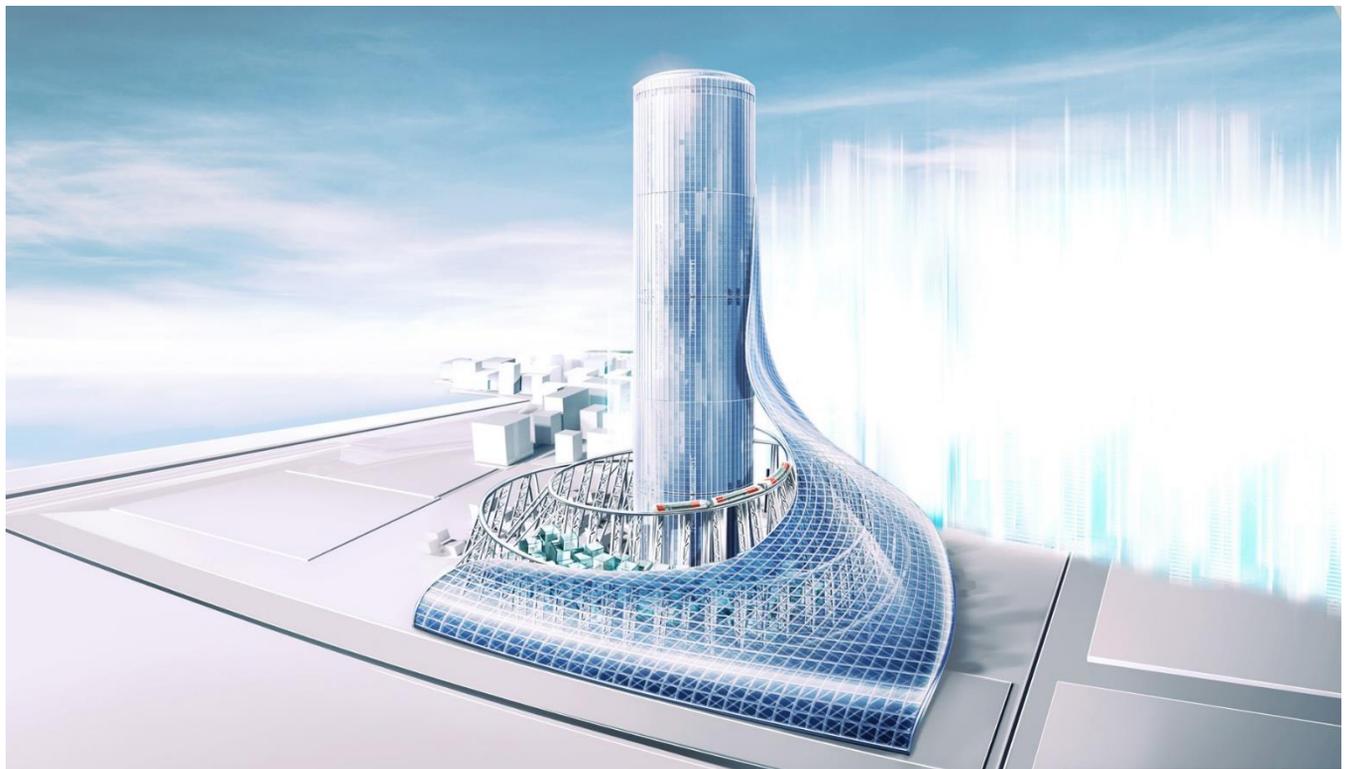


多様性が活力を生み出し、それが流れ出して、大阪の地下水脈となって大阪全体に染み出す象徴
(建物の外観で表現)



夢洲駅 開放的で出会いの予感に満ちた駅

※土地の確保等の条件があり、今後関係者と協議・調整を進めていく。



夢洲駅タワービル

多様性が活力を生み出しそれが大阪中へ染み渡っていくというコンセプト

※土地の確保等の条件があり、今後関係者と協議・調整を進めていく。